



2023年7月28日

各 位

会社名 株式会社 ユビテック
代表者名 代表取締役社長 大内 雅雄
(スタンダード・コード6662)
問合せ先 役職・氏名
グループ管理部 部長 手塚 佑介
電 話 03-5447-6731

特別損失の計上及び通期連結業績予想並びに剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2023年6月期決算において、特別損失を計上するとともに、2023年5月12日に公表いたしました「2023年6月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2023年6月期の通期連結業績予想を以下の通りといたしましたので、お知らせいたします。

また本日開催の取締役会において、2023年6月30日を基準日とする剰余金の配当(無配)につき決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社が保有するWork Mate事業に係る固定資産について、導入規模やペースが想定より下回って推移していることで収益化に時間を要しており、営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっていることから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、2023年6月期決算において減損損失73百万円を特別損失として計上することといたしました。

2. 業績予想について

(1) 2023年6月期通期連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	985	△226	△228	△289	△19円54銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年6月期)	1,170	△207	△206	△210	△14円23銭

(2) 業績予想公表の理由

2023年6月期の連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く事業環境の変化等により、合理的な算定を行うことが困難な状況であったことからこれまで未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や業績動向等に基づき、業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

売上高につきましては、カーシェア車載機の受注が増加し、また安全見守りサービス「Work Mate」につきましても現時点においては導入規模やペースは想定より下回って推移していることで収益化に時間を要しているものの、積極的なプロモーション活動とユーザーニーズの拡大がマッチして、導入企業数が着実に増加しており、また当連結会計年度より販売を開始した医療業界向けの咬合力計測機器用回路基板が売上高増加に寄与しましたが、従来の主力製品である紙幣鑑別センサモジュールの需要減少による売上高の落ち込みをカバーするまでには至らず、売上高は全体としては前期実績と比較して16%程度の減収となる見通しです。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、減収による影響に加え、上記1.に記載の通り、固定資産の減損損失を特別損失に計上することとなりましたため、損失幅は前期より拡大する見通しです。

3. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年5月12日)	前期実績 (2022年6月期)
基準日	2023年6月30日	同左	2022年6月30日
1株当たりの配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

(2) 理由

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策として位置づけ、利益配分につきましては将来の事業展開や経営環境の変化に対応するため、内部留保に留意しつつ、安定的な配当を行うことを念頭に置き、業績に応じて総合的に決定することを基本方針としております。

2023年6月期の期末配当予想につきましてはこれまで未定としておりましたが、前述の通り親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見通しであることから、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう業績の改善に努めてまいりますので、ご理解と引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

[注] 以上の業績予想は、現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動及び経済情勢等の変化により、実際の業績と本開示内容における見通しとは異なる可能性があります。

以上